

海軍式部卿吉之丞長官殿

串空機密第 2 號 / 三 / 一

軍極秘

昭和十八年二月二日

串本海軍航空隊戦闘詳報第三號別冊第一號

四月十一日送付



役務	所属
内戦部隊	大阪敬言備府



0059

串本海軍航空隊戦闘詳報第三號別冊第一號

昭和十八年二月二日

一 形勢

(1) 當隊哨戒機航路哨戒中、二日〇八五。市江崎燈臺三六度三理
(報告位置市江崎三一〇度五理)ニ於テ潛没潜水艦ノ油ヲシキモ、油
出スルヲ發見。九三〇之ヲ爆撃セリ

四 天候

晴 北風ニ米 視界三〇 料海上平穩 透視良好

二 計畫

(1) 命令

哨戒中敵潜水艦又ハ敵潜水艦ヨリ洩出スルト認ムル油ヲ發見セバ直ニ
之ヲ攻撃スルト共ニ附近友軍艦艇ヲ誘導スベシ

(2) 使用飛行機

零式水上偵察機ニ機
九四式水上偵察機一機

0060

飛行機隊編制

操縦員	偵察員	電信員	兵装
上飛 渡辺茂信 中尉 菅 木 泰 彦 上飛曹 北 村 茂 雄	上飛曹 藤 田 俊 雄 上飛曹 菅 原 正 敏	上飛曹 小 原 俊 上飛曹 菅 原 正 敏	六番爆弾 = 留式旋回機銃 = 六番爆弾 四 留式旋回機銃 =

備考 上印 機長ヲ示ス

三経過

昭和十八年二月二日の六四のヨリ一六四の迄零式水偵三機九四水偵二機
 (延機數六機)ヲ以テ哨区沿岸哨戒並ニ對潛攻撃ヲ實施ス
 八〇八五の市江崎ニ六度ニ於テ潛没潜水艦ノ油ヲシキモ、湧出シ
 アルヲ發見シ九三〇の爆撃ヲ續イテ荒木機高橋機笠原機一六三の迄爆
 撃及水艦艇誘導ニ任ズ
 各機行動經過次如シ

津藤機

〇八五發進市江崎方面航路哨戒中。八五〇市江崎燈臺ニ度ニ理ニ
潛没潜水艦・油ヲシキモノ湧出スルヲ發見阿津丸ヲ誘導シ〇九三〇爆撃
ニ彈投下〇九三五阿津丸爆雷投射開始攻撃直後油湧出量約
十倍ニ増加セルヲ認ム一〇〇歸着

荒木機

〇九四〇發進五任沖ヨリ五一特驅艇ヲ誘導シ一〇〇五現場着
一〇三〇第ニ高島丸爆雷投射ヲ認ム現場ヲ監視中攻撃点ヨリ
一六〇度ニ千米ニ油紋ノ湧出スルヲ認ム一〇四〇爆撃ニ彈投下一〇四五
五一特驅艇爆雷投射開始攻撃後多量重油ノ湧出ヲ認ム
一一五五歸着

高橋機

一一二五發進一一四〇現場着一三〇五第ニ鮮友丸爆雷投射ヲ認ム
尙現場監視中始ノ攻撃点ヨリ二八〇度ニ千米ニ油紋ノ湧出スルヲ
認ム一三五〇爆撃ニ彈投下一三五五成生爆雷投射開始一四三〇歸着

0062

空原機

一五〇五發進一五二〇現場着油帶、狀況ヲ監視セルモ著シキ亦変化ヲ認メズ一六四〇歸着

四成果

爆撃子及爆雷投射ニヨリ油紋、湧出増加シ長サ五百米幅五十米トナレルモ敵潜水艦ノ實體ヲ認メズ且本地点ニ多数ノ船艇沈没シアルヲ以テ湧出油増加ノミヲ以テハ其ノ効果ヲ判定シ得ズ

五消耗兵器被害

小消耗兵器

六番ニ號爆彈 六

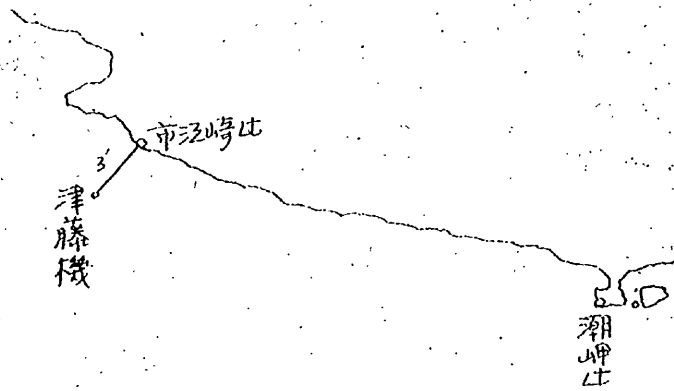
六番陸用爆彈 一

四味方被害ナシ

六所見

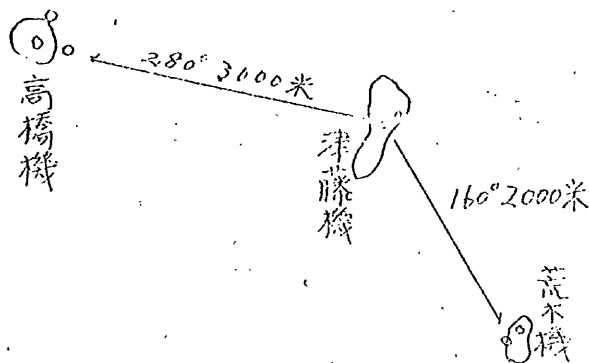
沈没艦船ノ狀況形狀ヲ模寫シ得ル電氣的機械、研究完成セバ

0063



敵潜水攻撃効果判定並に沈没艦艇引揚等に至る、効果ヲ有スルモ
 上認め
 飛行機隊行動圖並に彈着圖

機名	發進	歸着	敵発見	爆撃	効果
津藤機	0815	1100	0850	0930	不明
荒木機	0940	1155	/	1040	不明
高橋機	1125	1430	/	1350	不明
笠原機	1505	1640	/	/	/



0064